

二七七一番

我妹子わぎもこが 袖そでを頼たのみて
着きずて来きにけり 真野まのの浦うらの
小菅こすげの笠かさを

二七七二番

真野まのの池いけの 小菅こすげを笠かさに
縫ぬはずして 人ひとの遠とほな名
を 立たつべきものか